



ふるかわつかさ  
古川司(32)

ふるかわわか  
古川和佳(32)

▲愛情込めて育てたニラハウスにて

妻の里へ。□□□  
就農でUJターン

From 東京都荒川区  
To 香南市野市町西野  
※2016.3末現在  
野市町下井の世帯数 163世帯  
野市町下井の人口 414人  
のいち駅より車で5分

★古川 司さん 和佳さん  
移住年／平成 22 年

前居住地／東京都荒川区

職業／ニラ農家

★1カ月の生活費

家賃	内 緒
光熱水費	11,000 円
食費	40,000 円
通信費	20,000 円
自動車・交通	20,000 円



★家の間取り  
1LDKの  
アパート

自分たちが成功事例になって  
若い人が帰ってきたいと思えるように

妻との出会いは、東京の旅行会社でツアーコンダクターの同僚として勤務していたときです。妻が系列の製薬会社へ転属した時に、一緒に過ごす時間とゆとりがほしいと互いを感じ、結婚を機に、自分の実家三重県か妻の実家高知県のどちらかへ帰ることを決意しました。

妻の実家では、サラリーマンから農業に転職した義父から、農業の話聞いたことがきっかけで、野市町で就農することを決意しました。農家になることは冒険でしたが、義父の後押しと、若いからこそやり直しも利くと思ひ、挑戦しました。幸い畑探しも妻の実家の近くで見つけることができ、貸していただいた8畝の畑がたまたまニラ畑だったことからニラ農家になりました。

田舎には働く場所がないので、帰りたくても帰れないという若者がたくさんいると思います。そんな若者のためにも自分たちが成功事例になって、たくさんの若者が、安心して帰って来られるようにしたいと夫婦で話しています。



▲ニラの摘花作業

ニラの師匠と  
市の就農支援に感謝！

ニラ畑を貸してくれた方がニラ作りの師匠です。師匠の畑も自分のハウスから近いのでよく気にかけてくれ、分からないことをたくさん教えていただいて、師匠にはとても感謝しています。

また、農業を始めるにあたっては、香南市の支援制度「青年就農給付金事業」(最長5年)を活用し、現在4年目です。昨年は、中古ハウス取得時に「園芸用ハウス整備事業」も活用しました。市の就農支援はありがたいです。お陰で安定した収入と、作付面積を当初の8畝から4年間で5反8畝と規模を拡大することができ、今年の秋からは、アルバイトを雇う計画をしています。



▲奥さんの実家の倉庫で収穫したニラの「そぐり作業」を行います  
そぐり作業では、枯れ葉など除去して、葉の長さや形を整えます



▲将来的にはそぐり作業を機械化して効率を上げるよう思案中

これからの移住者へ

関東圏から見れば四国は僻地と考える人が多いかもしれませんが、まずは、一度足を運んでみて気軽に観光することです。

また、子育てや学校のことなどで変化する環境に身動きが取りづらくなる前に、移住を考えた方がいいです。自分たちのプランを立て、できれば20代での移住ならやり直しも利くと思います。